

Oral Care
&
Denture

時代に即した 歯科医療の 新しい展開を求めて

- 訪問診療は、生活支援のための医療であり、そこで歯科に求められるのは“口から食べられることを可能にしてくれる歯科医療”である。
- 訪問診療に長年取り組んできた著者らが、食べることが困難になっている要介護者や後遺症などで障害をもった高齢者などが、口から食べられるようになるために、歯科医療として何ができるのかを“口腔ケアと義歯”をキーワードに実践的な内容を具体的にまとめた画期的な書である。
- 医師・看護師・言語聴覚士・栄養士・介護…などの多職種の方々との共通言語による連携の重要性と、それぞれの著者が多職種とのチームアプローチを通じて、悲惨な口腔状態の在宅や施設などの要介護者が、口から食べられることによって、豊かに明るく変化していく生活の医療が実感できる内容構成になっている。
- DVDには、編者自らの声で、口腔ケアの実践と義歯の作り方の実際について臨場感あふれる内容が収録されている。

『食べられる口づくり 口腔ケア & 義歯』

■編著 加藤武彦 黒岩恭子 田中五郎

A4判・148頁・オールカラー・DVD付

定価7,140円(本体6,800円+税5%) ISBN978-4-263-44256-2



21
装具としての義歯の作り方の実際
口腔ケアの実際

口腔ケア & 義歯

食べられる口づくり



医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633 <http://www.ishiyaku.co.jp/>

口腔ケア, 訪問歯科診療を行う歯科関係者と 医療・介護などの多職種の方々へ

第1章 時代に即した歯科医療の新しい展開を 求めて (加藤武彦)

—なぜ訪問診療を行わなくてはならないのか

第2章 食べられることができる口づくりのために

- I. 食べられるための口腔ケア (黒岩恭子)
- II. 装具としての義歯—要介護高齢者にとって義歯とは (加藤武彦)

第3章 食べられるための口腔ケア 実践編 (黒岩恭子)

1. 要介護高齢者の「食べられる口」づくりに必要なこと
2. 新しい口腔清掃用具の必要性
3. くるリーナブラシの開発—プラーク除去から口腔内全体の清掃へ ほか

第4章 装具としての総義歯

- I. いま義歯に対して何が求められているか (加藤武彦)
 1. こういう歯科医が社会から求められている
 2. いまの歯科界の現状は…
 3. なぜこのような義歯しかできないのか ほか
- II. リハビリの装具として総義歯を機能させるためには (三木逸郎)
 1. 義歯は要介護者にとって、最高の装具である
 2. 摂食・咀嚼・嚥下障害での装具としての義歯の役割
 3. 健常時に口腔機能にマッチしていなかった義歯では、障害を持つと、なおさら使えない
 4. 周囲粘膜に適合した“デンチャースペース義歯” ほか

第5章 これから訪問診療をはじめの方々へ

1. 在宅診療の場で遭遇した事例 (加藤武彦)

訪問診療を行うにあたって／医科との連携のとり方／認知症の患者さんへの対応／摂食・嚥下障害の患者さんへの対応／歯科としての摂食・嚥下障害へのアプローチ／介護技術の習得／器具機材の開発
2. 訪問診療で遭遇する諸問題
 - 1) 認知症をよく理解するための8大法則・1原則 (杉山孝博)

—認知症の人の世界を理解するために
 - 2) 歯科に対して望むこと—STの立場から (竹内茂伸)
 - 3) 医師の立場から歯科界への提言 (栗原正紀)

—地域を支える「口のリハビリテーション」の展開を

第6章 事例紹介—地域とのつながり

- 1) 多職種連携による食支援—中標津ケア研究会の取り組み— (内藤 敢ほか)
- 2) 入れ歯救援隊がきっかけで訪問診療に (升田勝喜)
- 3) 他職種との連携による「食べるための訪問診療」 (藤原修志ほか)

第7章 訪問診療に際して他職種から寄せられる 質問と回答 (加藤武彦・黒岩恭子)



付録DVD

1. 口腔ケアの実際
2. 装具としての義歯の作り方の実際

郵便はがき

113-8790

255

(受取人)

東京都文京区本駒込 1-7-10

医歯薬出版株式会社
歯科宣伝行



食べられる口づくり 口腔ケア & 義歯 () 冊
() 冊
() 冊

注文書

● お名前

● ご住所

TEL.

□ ご指定納入店

支店

□ 恒送希望 (一回の発送につき手数料400円別途がかかります。)

切り取って
お出ください。

料金受取人払

本郷局承認

4997

差出有効期間
平成20年4月
30日迄
切手不要